

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市あおぞらホーム		
2 指定管理者	社会福祉法人なのはな会		
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・ 令和3年度 3,277人（前年度比 79%） ・ 令和2年度 4,141人（前年度比 121%） ・ 令和元年度 3,411人（前年度比 70%）		
	《事業》 ・ 児童発達支援事業		
5 収支の状況	《費用》		( )は前年度決算額
	・ 指定管理者に支払った費用 35,451千円 (35,629千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (1,596千円)		
6 利用者の声	《実施状況》		
	・ 令和4年2月、指定管理者の協力のもと、障害者支援課で利用者アンケートを実施した。		

## 二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に沿った事業計画が作成されており、職員も設置目的を適切に理解し、施設運営に当たっている。 利用者個々の特性に寄り添った療育を工夫して行っている。 近隣の保育所・幼稚園等の子育て支援機関と連携し、地域支援の充実にも積極的に取り組んでいる。	42/42
II 施設の運営管理体制	事業計画に基づいた運営がなされている。経理書類の作成及び通帳印鑑の管理についても適正に行われている。 また、各種マニュアルの整備や、毎月の避難訓練のほか、近隣の支援学校や社会福祉施設との合同訓練を実施しており、利用者の安全に配慮した運営に努めている。 個人情報の管理については、不適切な取扱いが一部あった。	24/24
III 施設・設備の維持管理	清掃・衛生管理・施設の保守点検は適切に行われており、利用者が快適に利用できる環境整備に努めている。	24/24
IV サービスの質の向上	サービス水準を確保するため、定期的な職員会議や研修により人材育成を図るとともに、情報共有に努め職員全体でのサービス向上を目指している。 説明の仕方を工夫し、わかりやすく丁寧な説明を心掛けている。	27/27
V 施設固有の基準	個別支援計画について、利用者1人1人の障害特性に寄り添い、詳細に作成している。 また、専門職員の配置を生かし、保護者からの健康相談に対応するなど、安心して通園できる環境を整えている。 指定児童発達支援事業所としての基準を遵守しながら利用者処遇の向上に努めている。	4/4

### 三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人なのはな会）による自己評価》
<p>今年度は、アーチルの療育グループがコロナ感染拡大防止の為縮小されるなどし、療育グループの終了のタイミングが早まったり、療育グループに参加せずダイレクトに入園を希望する園児が例年より増加した。地域の療育が必要な子ども達とその保護者に対して、できる限りタイムリーに受け入れを行ってきた。</p> <p><b>【発達支援】</b></p> <p>1歳半から子どもの体力や家庭の事情に併せ、週5日開所することでニーズに合った通い方の提案を行い、子どものペースに併せた発達支援を行った。</p> <p>子ども達の興味関心を拡大できるよう豊かなあそびを中心に様々な体験ができる保育を実施している。感染拡大防止を図りながら子どもの発達にとって大切な行事の実施も行い、保護者と子どもの姿を通し子どもの持つ強みについて保育の場面を見ながら共有する時間としてきた。</p> <p><b>【家族支援】</b></p> <p>子どもの発達に不安を抱える保護者に対して、ペアレントプログラム認定支援者におけるペアレントプログラムを2クール実施した。子育てに難しさを抱える保護者と共に子どもの行動をどのように捉えていき対応すればよいのかということをも具体的に学ぶ機会を設けた。7割強の保護者が6回のコースを修了している。</p> <p><b>【地域支援】</b></p> <p>地域の子育て支援に関わる幼稚園、保育所、認定こども園で働く支援者のサポートを通して、発達に心配のある子どもの理解を深められるようスーパーバイズを実施した。定期訪問を依頼されることも増加し今年度は7園の定期訪問を実施した。その中で、各園においてニーズに合わせた勉強会や、会議実践、保護者面談実践などの保育者に対するサポートを中心に行い、地域でも発達に心配のある子ども達を受け入れる支援者支援と共に、子どもたちが地域の中で安心して過ごすことができる地域づくりを意識して実践を行った。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和3年度の管理運営については、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。</p> <p>発達支援においては、児童1人1人の発達や障害特性に応じた療育を行うための工夫がなされている。また、地域の子育て支援センターと定期的なケース検討会を行ったり、幼稚園・保育所等との情報共有や交換研修を実施するなど、地域の中で児童発達支援センターとして求められる役割を果たすため、積極的に地域支援に取り組んでいる。</p> <p>家族支援においては、保護者との個別面談や勉強会を定期的に開催するなど、保護者の不安や悩みに寄り添い、相談しやすい体制を整えている。</p> <p>以上により、利用児童への発達支援だけでなく、家族支援や地域支援を含め、安定した質の高い支援を提供し、良好で円滑な管理運営を行っていることから、総合的には高く評価できる。</p>	S

### 四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局障害福祉部障害者支援課